

立川市史編さん事業について

1. 市史編さん事業の趣旨

『立川市史』は市制 25 周年を記念して刊行（上巻：昭和 43 年 12 月・下巻：昭和 44 年 1 月）されました。早稲田大学の水野祐先生を中心に、昭和 39 年度から編さん事業をスタートさせ、5 年間という短い期間でまとめられました。現在、『立川市史』の刊行からおよそ半世紀が経過しています。その間、街並みや市民の生活は大きく変化し、立川市は多摩地区の中心都市とよばれるまでに発展しました。今ここで、もう一度立川市が辿ってきた道筋を明らかにすることは、将来の立川の街づくりを考えるための重要な手がかりとなると考えています。また、近年、市内に残されている貴重な歴史資料が急速に失われている現実も見過ごすことができません。これらの歴史資料を保存し、市民の財産として後世に伝えるとともに、今後の立川市を考えていくための布石とするため、平成 27 年度から立川市史編さん事業が開始されました。新たに編さんする市史は、『立川市史』の課題をふまえ、次の 3 点を重視し、多くの方に読んでいただけるような市史を目指して取り組んでまいります。

- ①『立川市史』ではあまり触れられていない近現代史を明らかにする。
- ②地域の古老への聞き取り調査や、散逸のおそれがある資料の収集・調査を行い、記録保存する。
- ③『立川市史』刊行後の新たな研究成果を反映させる。

2. 市史の構成について（事務局原案）

新しい立川市史は次のような構成としたいと考えます。また、DVD などデジタルメディアを積極的に活用します。

- ①本 編（通史編）
- ②資料編（時代別）
- ③別 編 ※学校教材用の普及版や、通史編では記述しきれないようなテーマを別編としてまとめたいと考えています。

3. 事業スケジュール（事務局原案）

市史編さん事業は、平成 27 年度から平成 36 年度までの 10 年間で予定しています。

年度（平成）	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
調査体制の整備	▶									
編さん方針の策定	▶									
基礎調査	▶	▶								
本格調査		▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
資料編の刊行			▶	▶	▶	▶	▶	▶		
本編の刊行									▶	
別編の刊行									▶	▶
まとめ（引き継ぎ等）										▶

※このスケジュールは事務局原案であり、今後変更される場合があります。

4. 平成 27 年度の事業予定

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事務所開設		●	●	●	●	●	●	●	●
編さん委員会			●	●			●		
編集委員会議	●		●						●
専門部会立ち上げ		●	■	■	■	■	■	■	■
市史だよりの発行								●	
関連講演会の開催								●	

○市史だより 市史編さん事業をより広く周知し、事業への理解と協力を求めるために発行します。体裁は、A4判・8ページ程度で、最新の成果等をトピックスとして掲載します。発行は、年2回（6月・12月）を予定しています。ただし、平成 27 年度は1回の発行で、平成 28 年 2 月頃を予定しています。

○関連講演会 市史だより同様、市史編さん事業の周知と成果報告を行います。開催は平成 28 年 2 月を予定。毎年実施します。